



平成 28 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 ユビキタス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐野 勝大  
 (コード 3858、東証 JASDAQ)  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 常務取締役 管理本部長 長谷川 聡  
 電 話 03-5908-3451

## 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」及び平成 28 年 5 月 14 日付「平成 28 年 3 月期決算短信（非連結）」において公表した平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)第 2 四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間**連結**業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	575	△250	△250	△250	△24 円 06 銭
今回修正 (B)	518	△176	△177	△196	△18 円 87 銭
増減額 (B - A)	△56	73	72	53	
増 減 率	△9.8%	-	-	-	

2. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間**個別**業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	382	△234	△228	△229	△22 円 10 銭
今回修正 (B)	330	△167	△160	△162	△15 円 65 銭
増減額 (B - A)	△51	66	67	66	
増 減 率	△13.6%	-	-	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	408	△106	△104	△105	△10 円 56 銭

3. 業績予想修正の理由

#### < 第 2 四半期累計期間の**個別**業績予想 >

コネクティビティ事業のうちサービス&ソリューション関連において、電力小売自由化に伴う電力会社の切り替え需要が市場全体で想定より拡大していない影響もあり、電力小売事業への参入事業者様との間のスマートエネルギー関連取引として、年初に想定した上期の売上高を下回る見込みであること、IoT クラウドプラットフォームにおいては競合事業者が増加傾向であり、また小規模な試験導入にとどまる案件が多く、収益化に時間が掛かるとみています。また、組込みソフトウェア事業のうち高速起動関連において、評価期間が長期化傾向にあり新規顧客との案件成立に時間を要しており、年初に想定した上期の売上高を下回る見込みであること等から、第 2 四半期累計期間の売上高予想を上記のとおり修正いたします。

損益面につきましては、売上未達の一要因である受託開発案件の未達による外注費の減少、人員計画の調整による人件費関連費用の減少等を要因に、営業利益、経常利益、及び四半期純利益について前回予想を上回る（損失額は減少する）見込となり、上記のとおり予想を修正いたします。

<第2四半期累計期間の**連結業績**予想>

売上高及び損益面の減少が見込まれる理由は、上記「第2四半期累計期間の個別業績予想」の記載の通りとなります。なお、ソフトウェアサービス事業（連結子会社の株式会社エム）の業績は概ね予算のとおりとなる見込みです。

なお、平成29年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、セキュリティ関連製品等の引き合いの状況、加賀電子株式会社様と共同開発した高機能HEMSゲートウェイ機器の市場投入等通期の業績達成に必要な材料が整いつつあることを考慮した結果、平成28年5月13日の決算発表時に公表しました予想からの変更はありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。